

<プログラムのハイライト>

●特別講演Ⅰ（10月17日 11:00～12:00）

「最近の放射線安全規制の動向」

放射線測定信頼性確保の義務化が令和5年10月に施行、各事業所では予防規程が改訂され運用が始まっています。その後の最新の放射線安全規制の動向を原子力規制庁の担当官の方に解説いただきます。

●特別講演Ⅱ（10月17日 15:00～16:00）

「放射線被ばくと遺伝影響」

放射線影響研究所の中村典氏よりご講演いただきます。原爆被爆者、チェルノブイリ事故による放射線被ばく者、あるいは小児の悪性腫瘍の治療目的で生殖腺に被ばくした元患者や家族等の調査による影響評価の結果、人体での被ばく影響は見つかっていないが更なる深掘りは行われてこなかったことを踏まえ、これらの再検討によって得られた知見の詳細な解説をいただきます。またマウスとヒトには、共通したところと共通していないところがあるとのことで、興味深いトピックであり、新たな知見の取入や知識の深掘りをする良い機会ではないでしょうか。

●特別講演Ⅲ（10月17日 16:10～17:10）

「診療放射線技師の現状と社会貢献」

日本診療放射線技師会の上田克彦氏より診療放射線技師養成の現状と働き方改革や放射線取扱主任者に係る法令改正等についてご講演いただきます。また福島原発事故後、原子力規制庁や環境省と協働した原子力災害対策や住民の被ばく相談等の社会貢献としての活動をご紹介します。

多様性の観点からも、医療現場での職能集団がどのような活動をされているのか、今後どのようなミッションがあるのか興味深い内容だと思います。

●シンポジウムⅠ（10月18日 9:30～10:50）

「東日本大震災直後からの復興支援の振り返りからの学びと教訓」

長崎大学の松田尚樹氏より、放射線取扱主任者として原子力災害との接点について、初期対応から得た知見を原子力災害対策へどう反映しているのか、またどう反映していくのかをご講演いただきます。

福島県立医科大学の山下俊一氏より、福島原発事故における被ばく線量評価、事故後の甲状腺の健康影響に的を絞って県民健康評価と原子力災害対応の現状、そして福島復興への貢献等についてご講演をいただきます。最後に総合討論という形で、両先生を交えて会場の皆様とご議論をいただく予定です。未曾有の原子力災害に対して活動されてきた両先生の思いを受け、RI、原子力を問わず、放射線取扱主任者としての使命をもう一度考える良い機会になることを期待しております。

●シンポジウムⅡ（10月18日 11:00～12:20）

「RI施設の未来に向けて～施設維持のための縮小と連携～」

シンポジウムⅡは企画専門委員会の企画として行います。RI施設は廃止や縮小が全国で進んでいます。本シンポジウムでは、RI施設の廃止、縮小について、それぞれの経験者をお招きし、実際の苦労や体験談を中心に講演いただく予定です。また廃止や縮小のその後のあり方の一例として、RI利用の拠点化や集約化、コミュニティ形成による協力体制等についても講演いただくことで、必ずしもネガティブなだけではない、前向きなRI施設のあり方を考えていきます。

●ポスター発表（10月17日 13:00～15:00）

参加者の皆様より、放射線安全管理をキーワードとした内容についてポスター発表をしていただきます。全国の放射線施設の管理担当者、放射線取扱主任者、将来、主任者を目指す学生等の皆様の意見交換・情報共有の場となることを期待します。また、関東支部では「私の施設の規則第20条に係る測定信頼性確保の様式」をテーマとして皆様に発表していただく「お題提案型ポスター発表」を企画しています。

●相談コーナー（10月17日 13:00～14:30）

放射線管理業務における疑問やお困りごと等についてご相談をお受けいたします。事前申込制で、放射線管理・安全取扱、法令、RI供給・廃棄等幅広い分野に対応できます。

●機器展示（10月17日 10:30～17:30、18日 9:10～12:00）

放射線関連サービス会社、製品メーカーによる機器展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。お時間の許す限り、何度でもお立寄りください。

※ポスター発表会場、機器展示会場にはドリンクコーナーやWi-Fi設備を設けます。また参加型アトラクションを検討しておりますのでお楽しみください。

●交流会（10月17日 18:30～20:30）

5年ぶりに交流会を開催します。会場のアルモニービアンは旧第一勧業銀行ビルで、国の登録有形文化財に指定されたレトロモダンな雰囲気漂う建物です。大会会場からは徒歩20分ほどの距離にあるためプログラム1日目終了後にシャトルバスを運行します。なお交流会の参加人数に制限がございます。このため、交流会への参加申込は事前登録にて承り、定員に達し次第締切りとしますので予めご了承ください。